



のびのこちゃん

横浜市立竹山小学校 学校だより

あ お だ け



令和4年10月31日 11月号 たけまるくん

ぎょうじ とお おお
行事を通して、さらに大きく

ふくこうちょう むらかみ なおこ
副校長 村上 尚子

11月に入ります。10月22日(土)、少し肌寒い日ではありましたが、第5回運動会を開催いたしました。保護者の皆様にはご理解ご協力いただき、誠にありがとうございました。今年度は、3年ぶりに応援団とリレーが復活し、本来の運動会の形にだいぶ近づいた会となりました。「はじける!! 全力ポップコーン」のスローガンのもと、子どもたちは皆、全力で取り組みました。1・2年生の演技。練習時には難しい隊形移動に戸惑う姿も見られましたが、友達同士声をかけながら繰り返し練習を重ね、本番は笑顔あふれる演技を見せてくれました。3・4年生の演技。バトンのキャッチとウエーブを全員でそろえることの難しさを感じながら何度も何度も練習をしました。本番では今までで一番そろったキャッチとウエーブを見せてくれました。そして5・6年生の演技。「伝統を受け継ぐ」責任を感じ、毎日懸命に練習に取り組む姿は、見ている下学年の子どもたちに多くのことを教えてくれていたように感じました。当日の演技はご覧いただいた通り、素晴らしいものでした。

そんな練習期間中、特に忙しく動いていたのが6年生の子どもたちでした。朝、中休み、昼休み、と職員室に「体育館のカギを借りに来ました。」「アンプを借りに来ました。」「ビブスを返しに来ました。」等々…分刻みで動いているのではと思うほどでした。ある日、「6年生、頑張っているね。でも忙しそうだね。疲れてない?大丈夫?」と声をかけたところ、「はい!大丈夫です!」「ありがとうございます!」そう笑顔で返してくれて、頼もしさと成長を感じることができました。また、その姿は「自分たちがこの学校の運動会を成功に導くんだ!」という気概にあふれているようでした。

子どもたちは、日々の学校生活に加え、行事を通して成長します。普段、経験できない出来事から物事を考え、伝え、人との関わりが増え、新しい学びを得て、人間としての幅を広げていくように思います。この後も行事は続きます。ぜひ、ご家庭でも話題にさせていただきながら、これからもお子さんの成長を共に見守ることができたらと思っております。